



iKEYBOARD

25/37/49/61/88 鍵、ペロシティセンシティブ、ピアノ型キー USB MIDI
コントローラーキーボード、24ビット /192kHz オーデ
ィオインターフェイス内蔵

iKeyboard 3S



iKeyboard 4S



iKeyboard 5S



iKeyboard 6S



iKeyboard 8S





警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

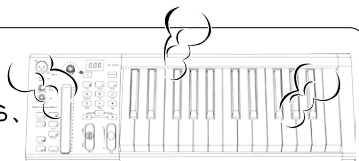
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気づきの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口へ修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す
記号



行為を禁止
する記号



行為を指示
する記号



警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容物

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
特徴	5
上面パネルレイアウト	7
リヤパネルレイアウト	10
ご使用前の準備	11
Mac ドライバのインストール	11
Windows ドライバのインストール	11
iKeyboard S ・ システムの接続	13
あなたの iKeyboard S オーディオ録音 ・ インタフェースのためのオーディオ設定を行います	13
Mac OS X に iMap™ をインストールす	17
Windows に iMap™ をインストールする	19
Cubase (ICON-DRIVER)	21
Cubase (Mackie Control)	22
Bitwig (ICON-DRIVER)	23
Bitwig (Mackie Control)	24
Reason (ICON-DRIVER)	25
Reason (Mackie Control)	26
Nuendo (iCON-DRIVER)	28
Nuendo (Mackie Control)	29
Pro Tools	30
Reaper	31
Samplitude	32
Studio One	33
Logic Pro	34
Ableton Live	36
上で MIDI 機能を指定する iMap™	37
iMap™ iKeyboard S ソフトウェア ・ パネル	37
ファームウェアのアップグレード	41
デフォルト工場設定に戻す	43
ベロシティ ・ カーブ	43
Appendix A	44
最低システム要件	46
製品仕様	47
修理について	49

はじめに

ICON iKeyboard S USB MIDI コントローラー・キーボードをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、iKeyboard S USB MIDI コントローラー・キーボードの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、www.iconproaudio.comにてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

ご購入日：

付属品をご確認ください

- iKeyboard 3S / iKeyboard 4S / iKeyboard 5S / iKeyboard 6S / iKeyboard 8S
-25/37/49/61/88 音、ベロシティ・センシティブ、ピアノ・スタイル USB MIDI コントローラー・キーボード x1
- CD 1 枚
アプリソフトウェア - iMap (Mac および Windows)
取扱説明書およびクイックサポートガイド
DAW ソフトウェア - Samplitude Pro X2 シルバー ICON 版
- クイックスタートガイド 1 通
- USB 2.0 ケーブル 1 本

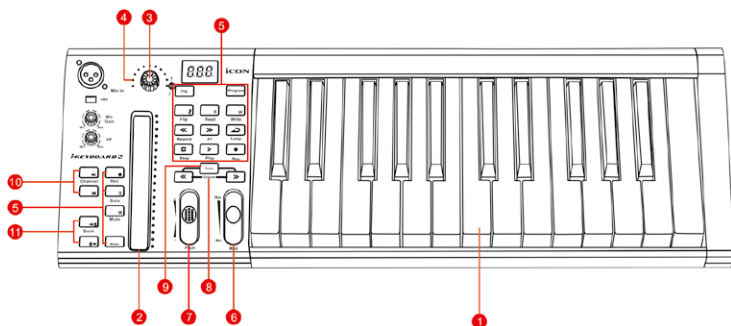
特徴



- パワフルなコントローラが装着されており、Mackie コントロールと HUI プロトコルで簡単にセットアップできます。
- 24 ビット 96/192kHz 2 入力 /2 出力 USB レコーディングインターフェース。
- 2x2 アナログライン I/O フルデュプレックス録音再生。
- 独立ゲインコントロール付きマイク入力 1 個。
- 1/4 インチ TRS ジャックによる 2 アナログ入力・2 アナログ出力。
- 背景照明 LED タッチ・フェーダーは、リアルタイムで DAW に反応します。チャンネルを切り。
- 替えると、自動的に、各チャンネルの値に同期します。
- デュアル機能エンコーダーつまみ (入力と回転)
- 回転方向表示用の、エンコーダー周囲の 11 セグメント LED
- ベロシティ・センシティブ、ピアノスタイルのキーボード
- モジュレーションおよびピッチジョグホイール
- 3 セグメント LED スクリーン
- 割り当て可能な 18 個のバックライト付きボタン
- 録音起動、ソロ、ミュートを含む、各チャンネル用照明式ボタン
- 再生、停止、録音、巻戻し、早送り、ループを含む、照明式トランスポートボタン 6 個。
- 移調ボタンとキースイッチを使って、ピッチを効果的にシフトできます。
- オクターブ上下ボタン
- 複数のベロシティ・カーブが選択可能
- MIDI 出力ジャック
- ソース割当可能なヘッドホン出力 1 個。専用ボリュームコントロール付き。
- エクスプレッションおよびサステイン・ペダル用 TRS コネクター。
- ソフトウェアコントロールパネルによるフレキシブルチャンネルルーティング。
- DirectSound、WDM、ASIO2.0 をサポート。

- フルデュプレックス、同時録音再生。
- Cubase、Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Bitwig、Reasons、Reaper、Studio One、Ableton Live 用の Mackie コントロール内蔵。
- Pro Tool 用の内蔵の Mackie HUI プロトコル
- Cubase、Nuendo、Bitwig、Reasons 用のプラグアンドプレイドライバを内蔵
- MIDI 機能マッピングに便利な iMap™ ソフトウェアが同梱されています。
- USB 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- Mac OS (Intel-Mac)、Windows XP、Vista (32 ビット /64 ビット)、Windows 7 (32 ビット /64 ビット)、Windows 8 (32 ビット /64 ビット)、Windows 10 (32 ビット /64 ビット) 対応。
- 高速 USB 2.0 対応
- Kensington ロックポート付きの堅固な金属製筐体

上面パネルレイアウト



注意: DAW によって機能がわずかに異なることがあります。各機能については DAW の取扱説明書をご覧ください。以下の説明は、Apple Logic の動作機能に基づいています。

キーボードコントロール

1. 鍵キースイッチ 25/37/49/61/88

25/37/49/61/88 鍵、ベロシティ・センシティブ、ピアノ型キースイッチ

2. DAW のチャンネルとマスターフェーダーを制御する背景照明 LED タッチ・フェーダー

タッチ・フェーダーで、各チャンネルのパラメータが調整できます。「Track」と「Bank」の2個のシフト・ボタンを押すと、チャンネル間で移動できます。「Master」ボタンを押すと、フェーダーでマスター・チャンネルのパラメータが調整できるように切り替わります。

3. デュアル機能エンコーダー

デュアル機能エンコーダーは、押しボタンおよびロータリーコントロールとして作動します。エンコーダーを押すと、動作モードを変更したり、チャンネルストリップ上のディスプレイの表示内容を変更することができます。エンコーダーを回すと、そこに割り当てられている機能に応じて、チャンネル間のパンニングや送信レベルやプラグインパラメータが調整できます。

4. エンコーダー LED

エンコーダーの周囲にある 11 個の LED が点灯して相対的な回転位置が表示されるので、コンピュータの画面を見る必要がありません。

5. コントロールボタン

録音チャンネルコントロールボタンセクション

REC (録音) ボタン - 対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。

SOLO (ソロ) ボタン - 対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチが赤色に点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。

MUTE(ミュート) ボタン - 対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチが赤く点灯します。赤く点灯したチャンネルがミュートされます。

Master・ボタン - DAW マスター・フェーダーを制御するタッチ・フェーダーを切り替えます。

トランスポートコントロールボタンセクション

PLAY(再生) ボタン - DAW の再生機能を起動します。

STOP(停止) ボタン - DAW の停止機能を起動します。

REC(録音) ボタン - DAW の録音機能を起動します。

REWIND(巻戻し) ボタン - DAW の巻戻し機能を起動します。

FAST FORWARD(早送り) ボタン - DAW の早送り機能を起動します。

LOOP(ループ) ボタン - DAW のループ機能を起動します。

自動化セクション

READ(読み込み) ボタン - READ ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの読み込み機能が起動します。

WRITE(書き込み) ボタン - WRITE ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの書き込み機能が起動します。

その他のコントロール・ボタン

Jog(ジョグ) ボタン - これを起動すると、エンコーダーをジョグ・ホイールとして使用することができます。

ジョグホイールは、シャトルやスクラブ機能など、DAW アプリケーション固有の目的に使用されます。

Program(プログラム) ボタン - エンコーダーと一緒に使用して、お使いのソフト・シンセのサウンド・バンクを変更します。

(**ヒント:** Mackie Control のと HUI プロトコル機能については、付録 A を参照してください。)

6. モジュレーションジョグホイール

回すとモジュレーションエフェクトが調整できます。

7. ピッチジョグホイール

回すとピッチベンドが調整できます。手を離すと、デフォルトの「0」に戻ります。

8. Octave ボタン

キーボードで演奏された音程を 1 オクターブずつ上下します。

9. Transpose ボタン

キーボードで演奏された音程を 1 オクターブずつ上下します。

(**Tip:** 「入れ替え」 ボタンを押しながら鍵盤スイッチ (元々の c1 (中央のド) ポジションから 1 オクターブ以内) を押すと、そのスイッチが c1 に変更されます。)

注意: 2 個以上のゾーンが設定されている場合は、最初のゾーンのみでピッチが変更できません。

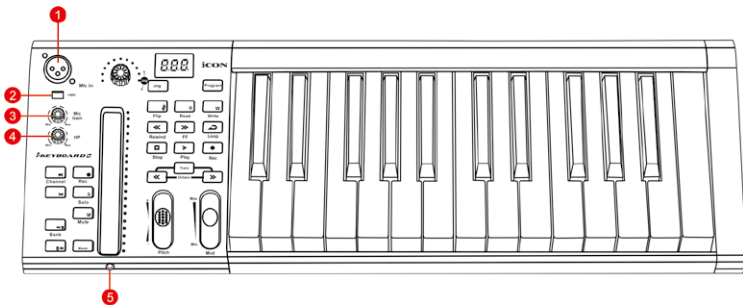
10. Track </> ボタン

- Track <** 全部のフェーダーが、1チャンネル分、上にシフトします(マスターチャンネルを除く)。
- Track >** 全部のフェーダーが、1チャンネル分、下にシフトします(マスターチャンネルを除く)。

11. Bank </> ボタン

- Bank <** 全部のフェーダーが、8チャンネル分、上にシフトします(マスターチャンネルを除く)。
- Bank >** 全部のフェーダーが、8チャンネル分、下にシフトします(マスターチャンネルを除く)。

オーディオレコーディングインターフェイス



1. 「Mic/Inst」 入力 1/2

不平衡マイクロホンレベル入力。3ピン標準 XLR プラグ用ハイブリッドコネクター。

2. 48V ファンタム電源スイッチ

このスイッチを押すと、それに関連した XLR 入力に 48V ファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます。

3. 入力ゲインレベルコントロール

アナログマイクロホンの入力レベルを調整するポテンショメータ。

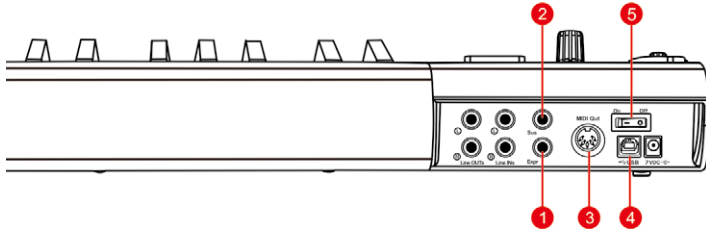
4. ヘッドホンレベルコントロール

ヘッドホン出力の出力レベルを調整するポテンショメータ。

5. ヘッドホン出力

標準 1/4 インチ TRS ヘッドホンコネクター接続用出力ジャック。

リヤパネルレイアウト



キーボードコントロール

1. エクスプレッション・ペダル入力

この 1/4 インチ入力には、標準型エクスプレッション・ペダルが接続できます。

2. サステイン・ペダル入力

この 1/4 インチジャックには、ピアノ用サステイン・ペダル (ICON SPD-01) などのモーメンタリータイプのフットスイッチが接続できます。

3. Midi Out ポート

Midi Out ターミナルに、外部のシンセサイザーやサウンドモジュールを接続します。

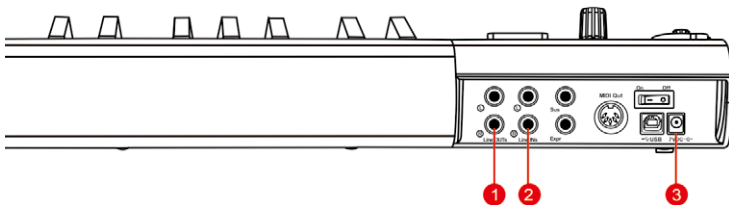
4. USB ポート

対応ソフトウェアとノート PC (またはデスクトップ PC) との MIDI ポートとして機能します。

5. 電源スイッチ

iKeyboard S の電源スイッチ。

オーディオレコーディングインターフェイス



1. ライン出力 1/2

+6dBu ラインレベルの不平衡アナログ出力用標準 1/4 インチ TS コネクター。

2. ライン入力 1/2

-10dB ラインレベルの不平衡アナログ入力用標準 1/4 インチ TS コネクター。

3. 7VDC/1A 電源アダプター

ここに、付属の電源アダプターを接続します。

注意: iKeyboard S は、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USB バス電源では、iKeyboard S を動作させるための十分な電源を供給することはできません。

ご使用前の準備

1. 次の手順に従って、お使いの Mac または PC に、iKeyboard S オーディオドライバー (WDM および ASIO) をインストールしてください。

注意: まだこの段階では、コンピュータに iKeyboard S を接続しないでください。

Mac ドライバのインストール

iKeyboard S はプラグインとそのオーディオ・Mac のドライバと全くオーディオドライバのインストールは必要ありませんのためにプレーします。

Windows ドライバのインストール

次の手順に従って、iKeyboard S シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

(1) コンピュータの電源を入れる

(**注意:** ここではまだコンピュータに iKeyboard S シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください。)

(2) CD-ROM にドライバ CD を挿入する

CD-ROM に本器付属のドライバ CD を挿入すると、図 1 のようなインストール画面が表示されます。ドライバをインストールするには、「Windows ドライバ」をクリックします。

注意: インストール画面が自動的に表示されない場合、CD のフォルダで、「セットアップ」をダブルクリックしてください。



図 1

(3) インストールウィザードが表示される

図 2 のような「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」を選択してください。

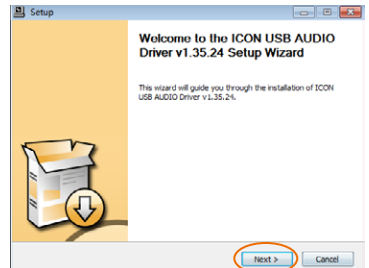


図 2

(4) ライセンス契約書

「ライセンス契約書の条項に同意します」にチェックマークを入れ、「次へ」をクリックします。

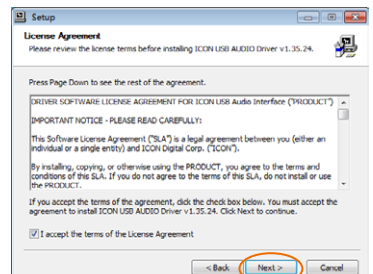


図 3

(5) ドライバインストールの確認

ドライバインストールの確認画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

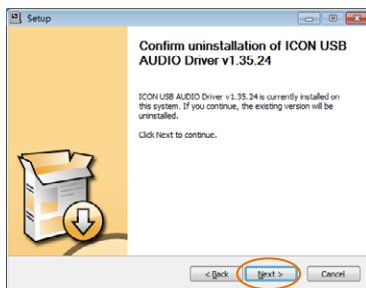


図 4

(6) ドライバセットアップ

図 5 に示すようにドライバをインストールする場所を選択して「次へ」をクリックします。

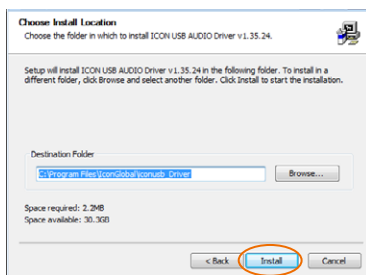


図 5

(7) インストールの開始

インストールプロセスが開始されます。ご使用のコンピュータの性能によってこのプロセスに要する時間が異なります。プロセスが終了するまでお待ちください。

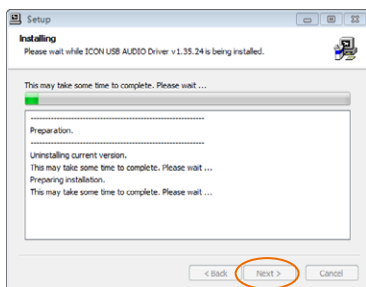


図 6

(8) ソフトウェアインストールウィンドウ

図 7 のようなウィンドウが表示されます。「とにかくこのドライバソフトウェアをインストールする」を選択してください。

注意: このようなメッセージが表示されますが、IKeyboard S シリーズのドライバは Windows XP、Vista、Windows 7、Windows 8 でサポートされることが試験済みですからご安心ください。

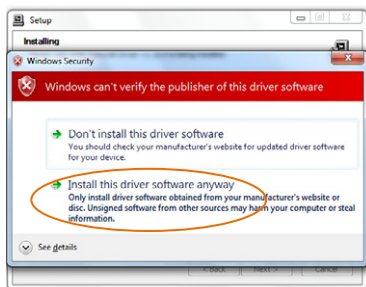


図 7

9) セットアップの完了

図8のようなウィンドウが表示されます。「次へ」を選択してください。

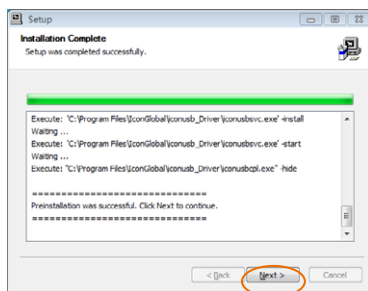


図 8

2. iKeyboard S ・ システムの接続

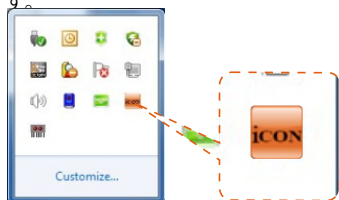
iKeyboard S を USB ポートでコンピューター (Mac/PC) に接続します。コンピューター (Mac/PC) の USB ポートに USB ケーブルの平型の端子を接続します。ケーブルのもう一方の小型端子を iKeyboard S に接続します。ご利用のコンピューター (Mac/PC) が iKeyboard S を新しいハードウェアとして自動的に認識し、使用の準備を完了します。

3. あなたの iKeyboard S オーディオ録音・インタフェースのためのオーディオ設定を行います。

Windows

3.1 ソフトウェアコントロールパネルを起動する

システムトレイの iKeyboard S ロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します。



ソフトウェアコントロールパネル

3.2 サンプリングレートの設定

図9のプルダウンウィンドウで、44.1KHz～192KHzのいずれか希望のサンプリングレートを選択してください。選択した後で「適用」をクリックすると、その値に設定されます。

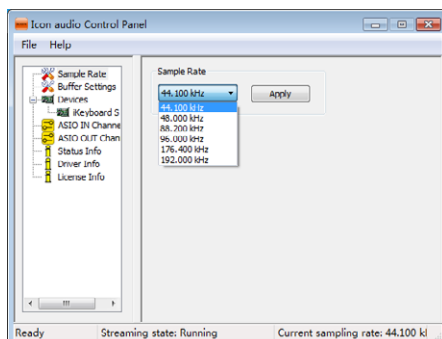
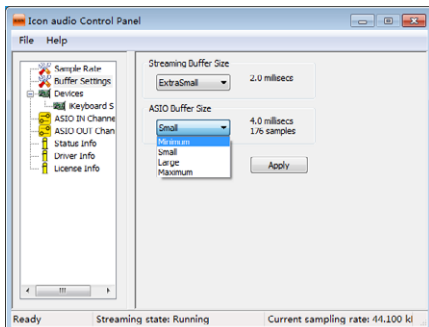


図 9

3.3 バッファサイズの設定

「ストリーミングと「ASIO」のバッファサイズを選択することができます。選択した後で「適用」をクリックしてください。

(**注意**：クリック音が聞こえたら、さらに大きなバッファサイズに設定を変更してください。一番大きなバッファサイズを選択した場合でもクリック音が聞こえることがあります。これは、ご使用のコンピュータの性能が不十分なため、タスクを処理しきれないことを意味します。(これは、IKeyboard S シリーズデジタルオーディオインターフェースから発生する音ではありません)



デバイスの設定

IKeyboard S デバイスのシリアル番号と製品 ID が表示されます。表示されない場合、デバイスが正しく接続されていないことを意味しています。もう一度「ドライバのインストール」手順（11 ページ）を繰り返してください。

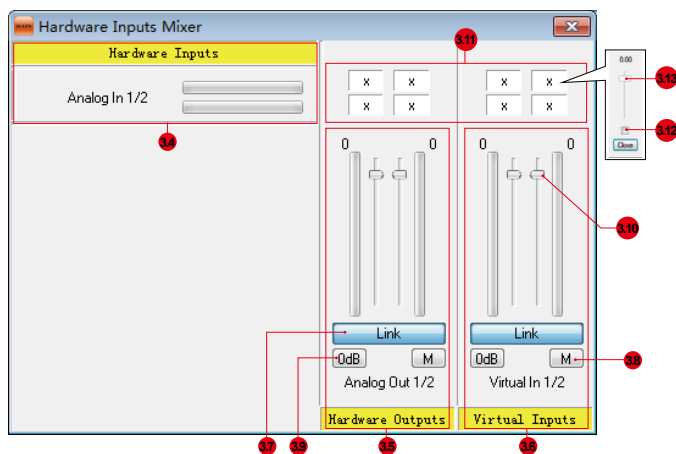
モニタミキサ

このボタンをクリックすると、「モニタミキサ」（15 ページ）が起動します。

再生ミキサ

このボタンをクリックすると、「再生ミキサ」（16 ページ）が起動します。

モニタミキサ



3.4 ハードウェア入力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 入力レベルメーターリング

ハードウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

3.5 ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング

ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

3.6 仮想入力レベルメーターリング

仮想 1、2 入力レベルメーターリング

仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。

3.7 リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

3.8 ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

3.9 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

3.10 ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

3.11 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

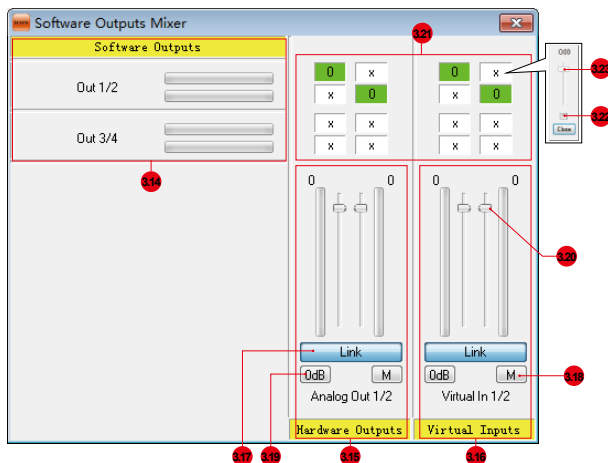
3.12 入力 & 出力マトリックスミキサ

このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。

3.13 入力 & 出力マトリックスミキサゲインコントロール

対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

再生ミキサ



3.14 ソフトウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング

ソフトウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

3.15 ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング

ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

3.16 仮想入力レベルメーターリング

仮想 1、2 入力レベルメーターリング

仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。

3.17 リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

3.18 ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

3.19 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

3.20 ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

3.21 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

3.22 入力 & 出力マトリックスミキサ

このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。

3.23 入力 & 出力マトリックスミキサゲインコントロール

対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

4 お使いの Mac/ PC に iMap™ ソフトウェアをインストールします

Mac OS X に iMap™ をインストールす

Mac OS X をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

- ① コンピューターの電源を入れます。
- ② ユーティリティ CD を、お手持ちのコンピューターの CD-Rom ドライブに挿入します。

CD を CD-Rom ドライブに挿入すると、インストール CD アイコンがデスクトップに表示されますので、インストール・ウィザードを開くには、このアイコンをクリックします。



図 10

- ③ セットアップ・ウィザードが表示されます。

セットアップ・ウィザードが表示されたら「続行」をクリックしてください。

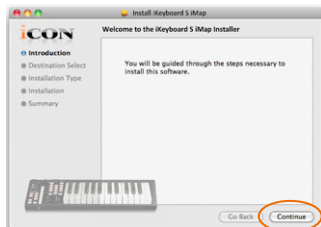


図 11

- ④ インストール先を選択します。

iMap™ ソフトウェアのインストール先を選択して、「次へ」をクリックします。



図 12

- ⑤ インストール先を変更します。

インストール先を変更したい場合、「インストール先の変更」ボタンをクリックして別の場所を選択してから「インストールする」をクリックして続行してください。



図 13

⑥ 管理者の情報を入力します。

iMap™ ソフトウェアをインストールするためには、管理者ユーザーの情報を入力しなければなりません。管理者名とパスワードを入力してから「インストール」をクリックして続行します。



図 14

⑦ インストールを終了します。

「終了」をクリックしてインストールを終了します。

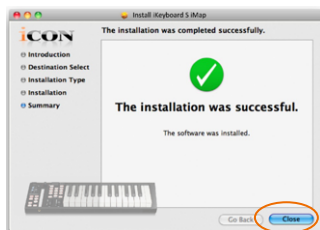


図 15

Windows に iMap™ をインストールする

Windows をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

- ① コンピューターの電源を入れます。
- ② ユーティリティ CD を、お手持ちのコンピュータの CD-Rom ドライブに挿入します。

CD を CD-Rom ドライブに挿入すると、図 16 のインストール画面が表示されますので、「iMap™ インストール」をクリックします。
(注意: インストール画面が自動的に表示されない場合は、CD フォルダを開き、「Setup」という名前のアイコンをクリックしてください。)



図 16

- ③ セットアップ・ウィザードが表示されます。

セットアップ・ウィザードが表示されますので、「続行」をクリックしてください。



図 17

- ④ インストール先を選択します。

既定のインストール先のまま、あるいはお好みのインストール先を選択してから「次へ」をクリックします。

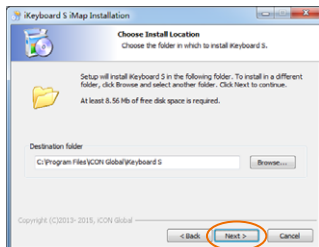


図 18

- ⑤ ショートカットを選択します。

iMap™ のショートカットを作成したいスタートメニュー・フォルダを選択します。「次へ」をクリックして続行します。

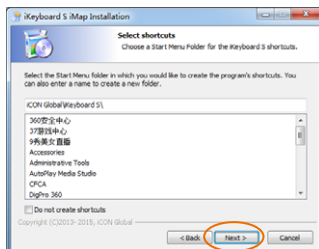


図 19

⑥ デスクトップにショートカット・アイコンを作成します。

iMap™ のショートカット・アイコンをデスクトップに作成したくない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。それ以外の場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

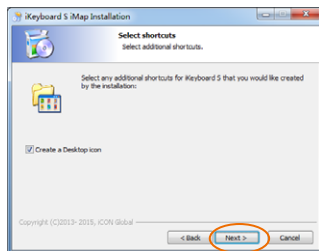


図 20

⑦ iMap™ のインストールが開始されます。

これで iMap™ のインストールが開始されます。インストールが完了するまでお待ちください。完了したら「次へ」をクリックして続行します。

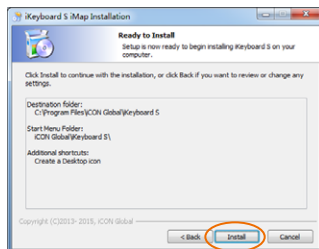


図 21

⑧ インストールを終了します。

「終了」をクリックして iMap™ ソフトウェアのインストールを終了します。

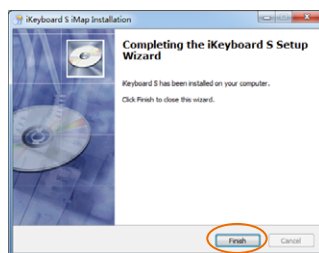


図 22

5. モードを選択したり、iMap ソフトウェアで iKeyboard S に MIDI メッセージを割り当てます。予めマッピングされている MIDI マッピングのプルダウン・メニューから Mackie Control モードが HUI モードを選択します。MIDI の割当に合わせて「ユーザー定義」モードを選択してください。37 ページの「iMap™ ソフトウェアで MIDI メッセージを割り当てる」を参照してください。

ヒント: プル・ダウン・メニューで正しい DAW モードが選択されていることを確認してください。

6. DAW のセットアップ

(Cubase™、Nuendo™、Bitwig™、Reason™ 用)

DAW または MIDI ソフトウェアの「MIDI セットアップ」または「MIDI デバイス」を使って、ICON iKeyboard S mini コントローラーを起動します。

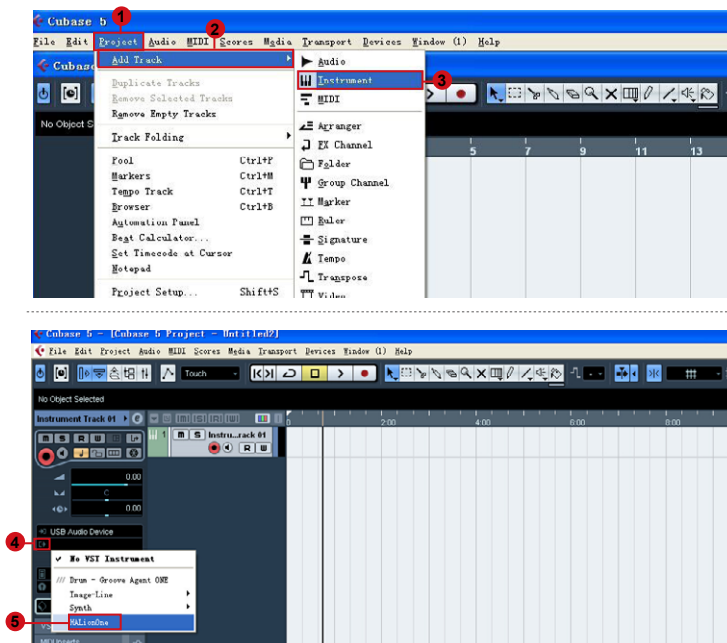
(Logic™, Samplitude™, Ableton Live & Reaper, では、「デバイスリスト」から「Mackie コントロール」を選択してください。)

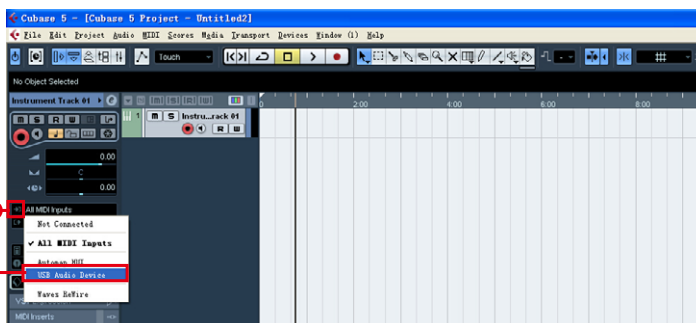
(Pro Tools™, では、「デバイスリスト」から「HUI」を選択してください。)

(**ご注意:** アプリケーションによって設定方法が異なることがあるので、設定についてはソフトウェアのユーザー・マニュアルを参照してください。)

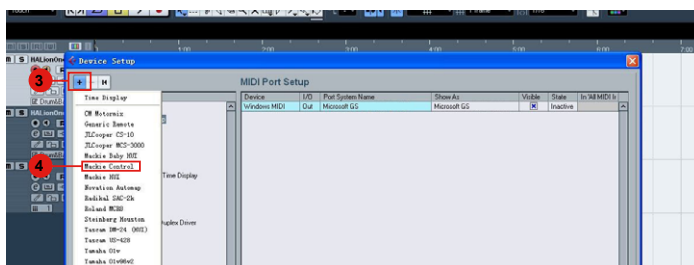
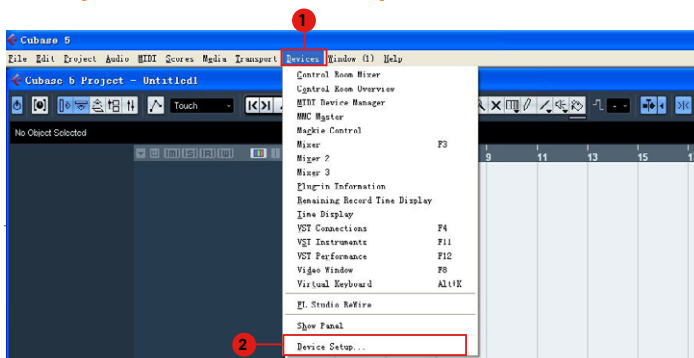
(**ヒント:** Mackie Control のと HUI プロトコル機能については、付録 A を参照してください。)

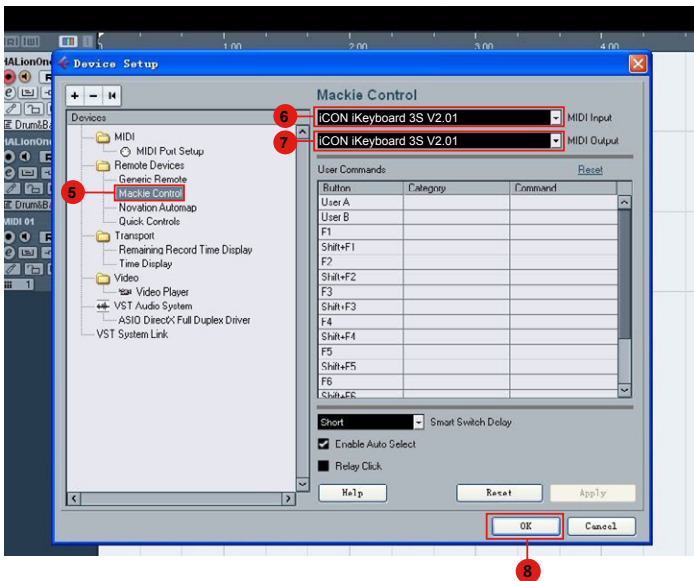
Cubase (ICON・DRIVER)



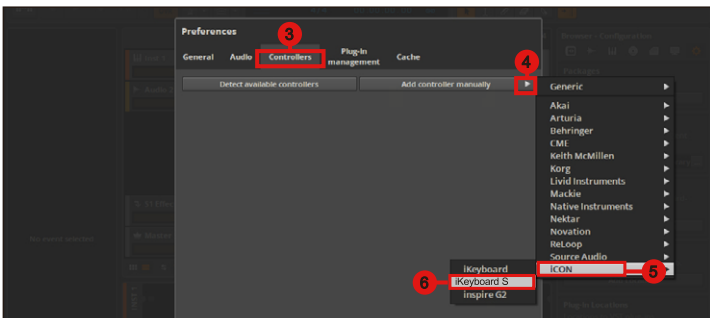
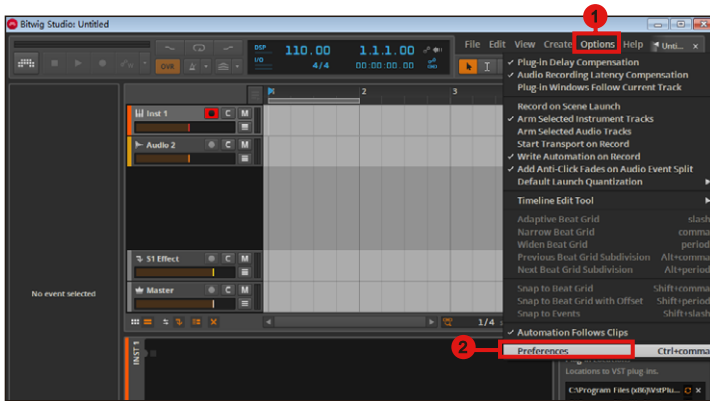


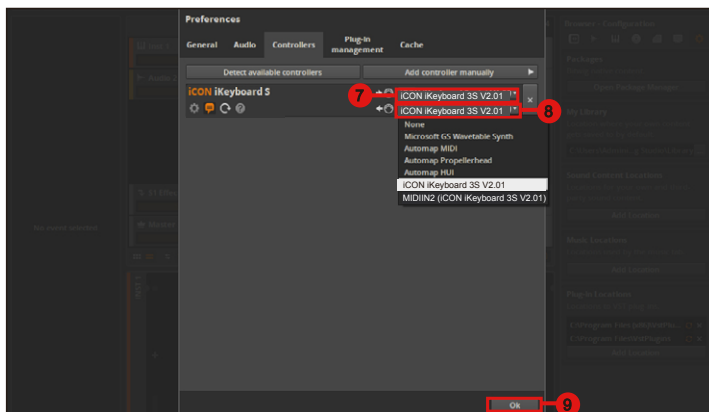
Cubase (Mackie Control)



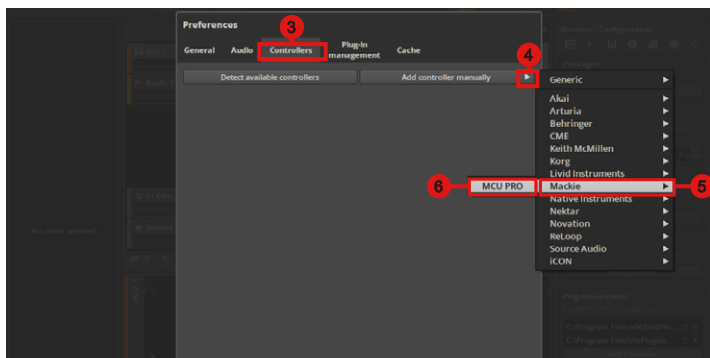
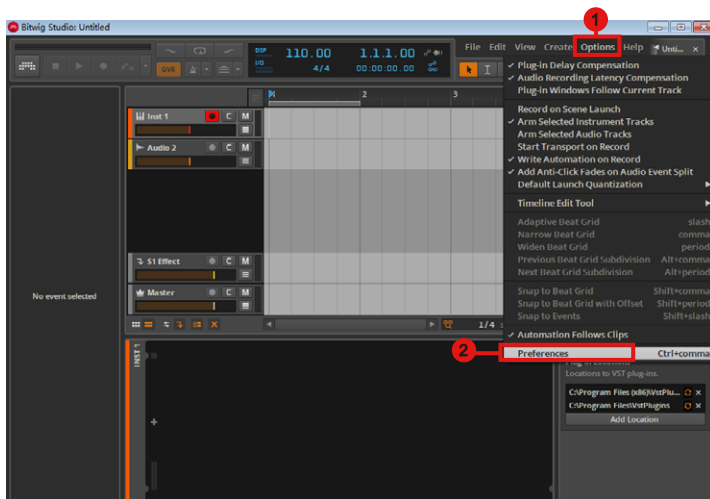


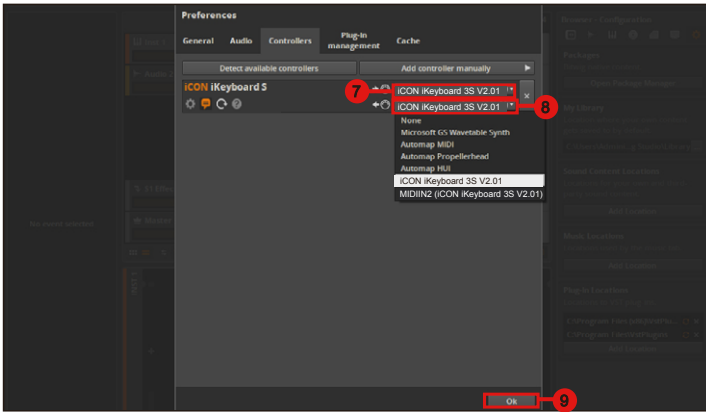
Bitwig (ICON·DRIVER)



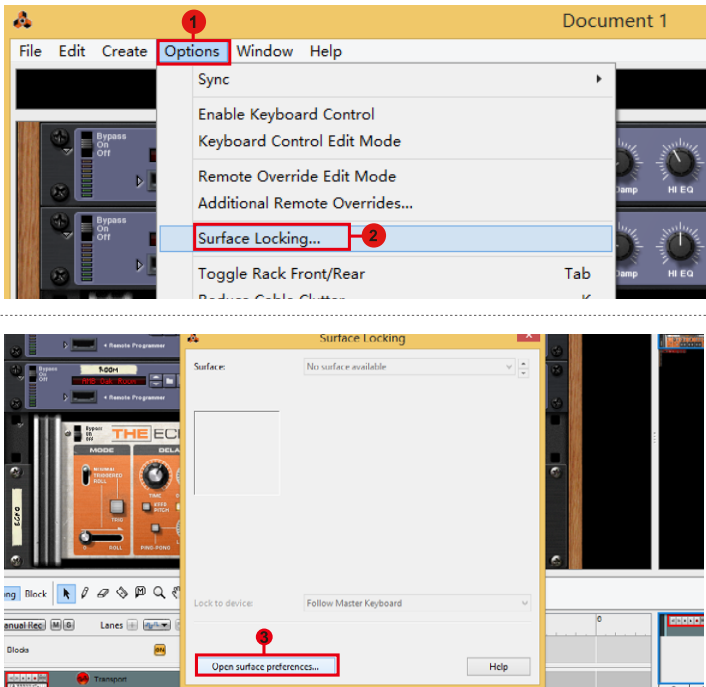


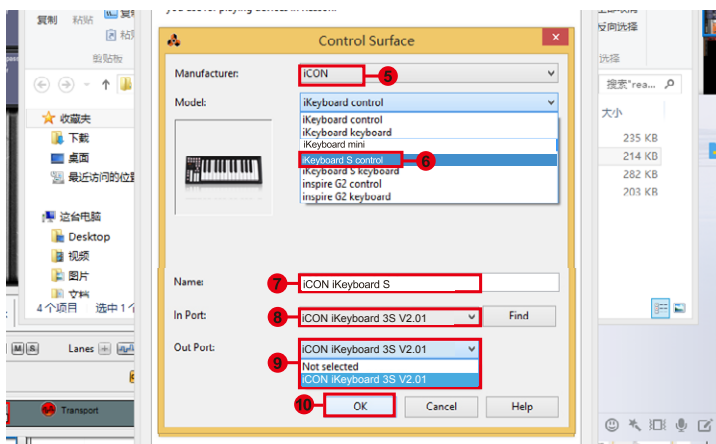
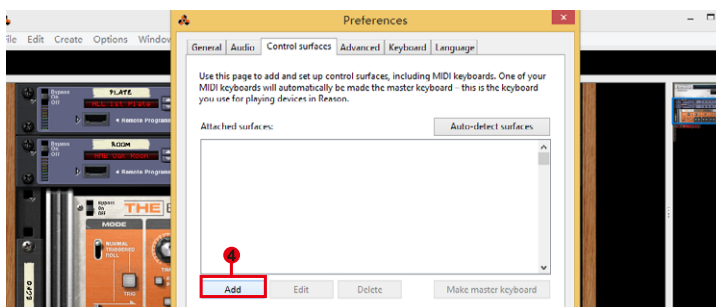
Bitwig (Mackie Control)



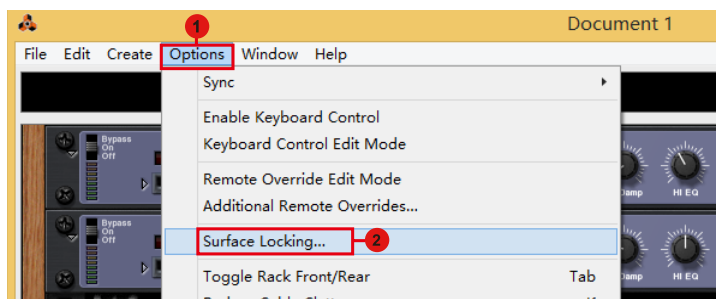


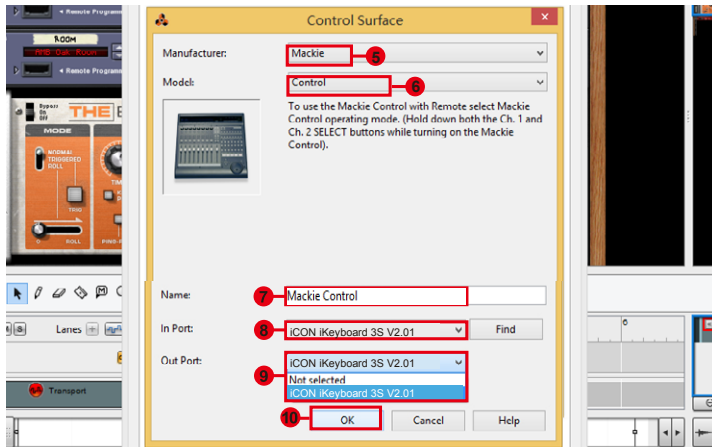
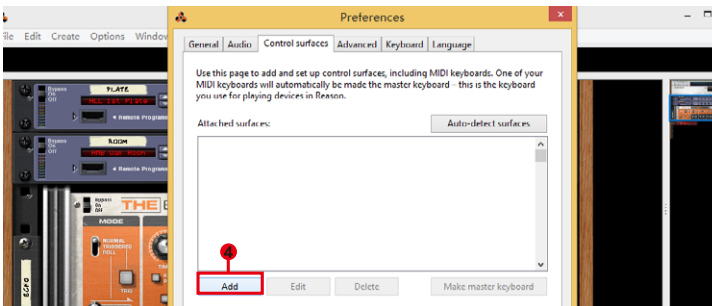
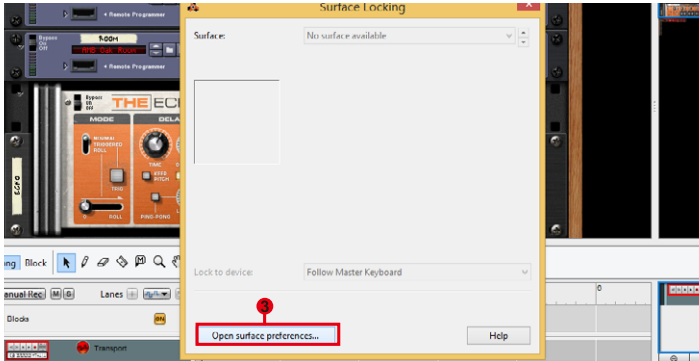
Reason (ICON·DRIVER)



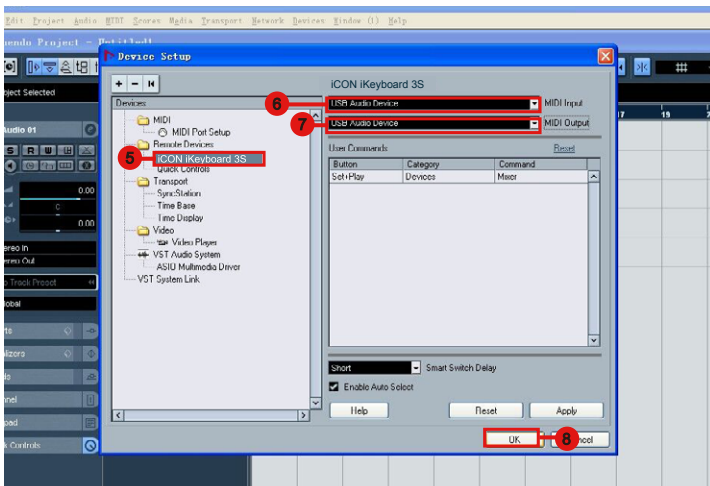
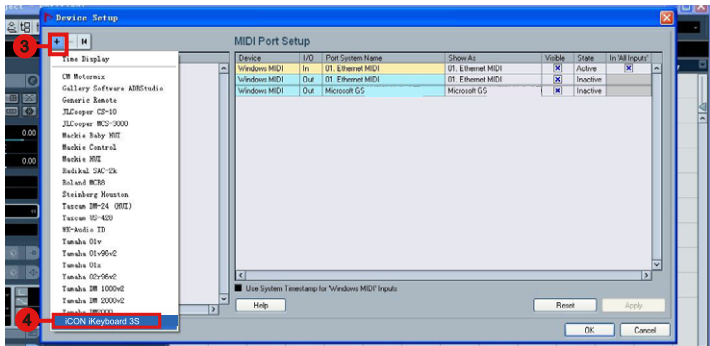
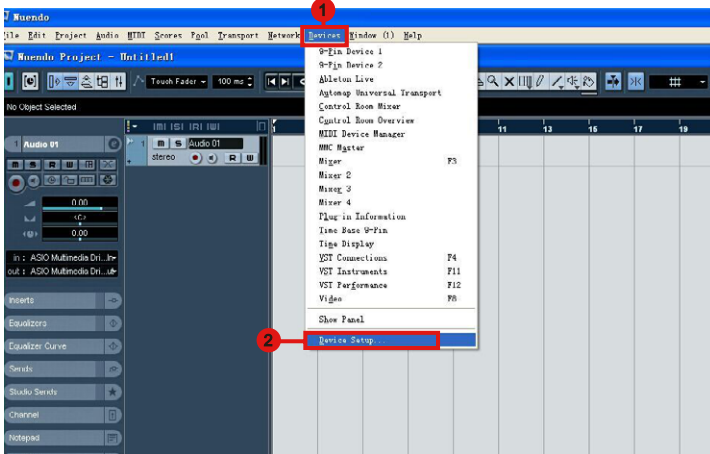


Reason (Mackie Control)

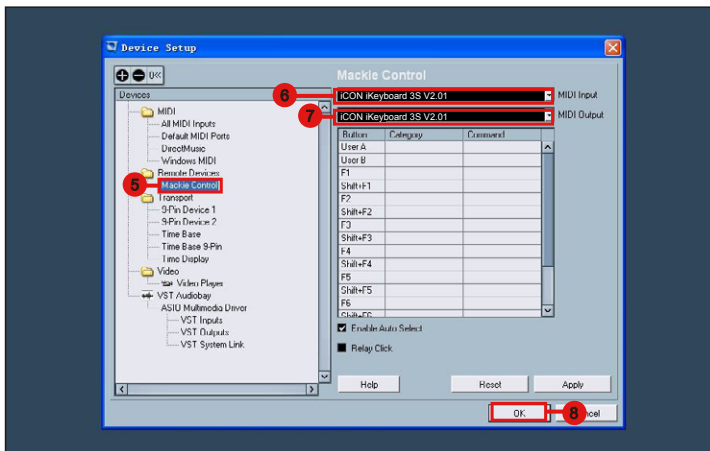
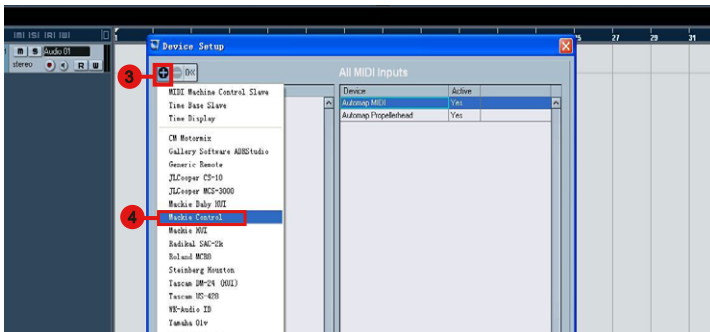
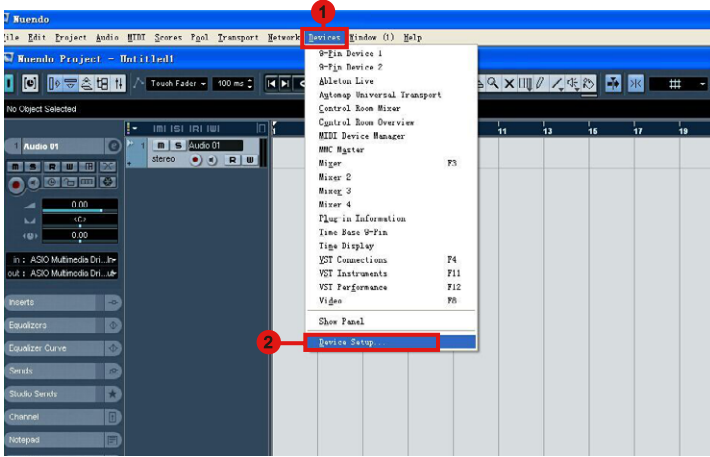




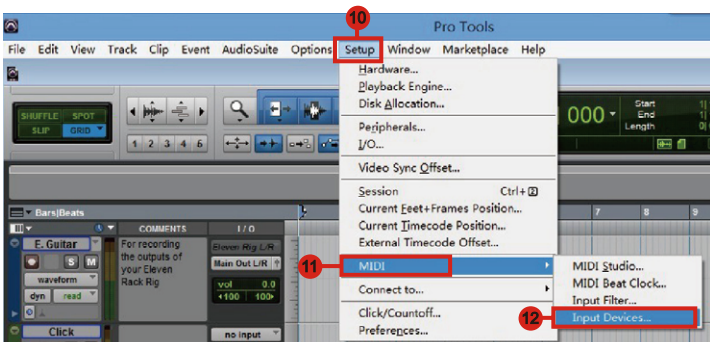
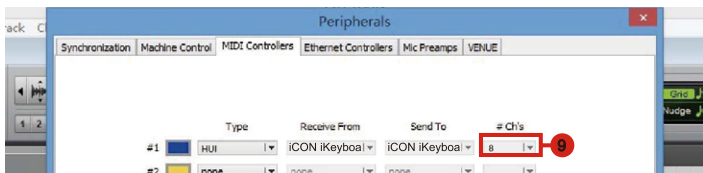
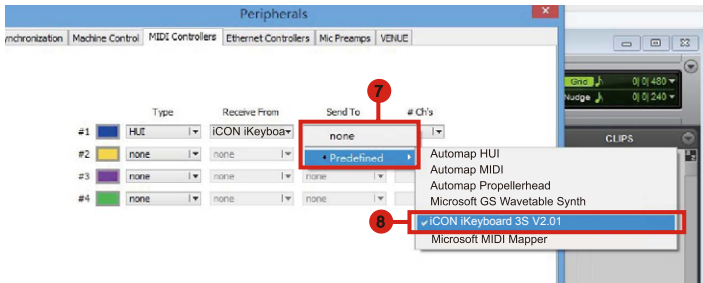
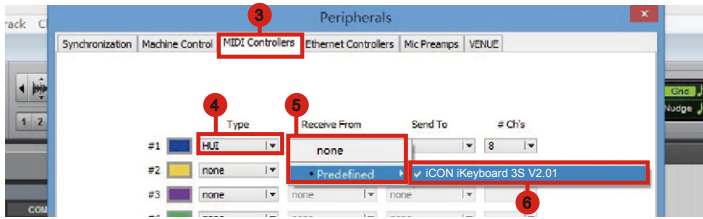
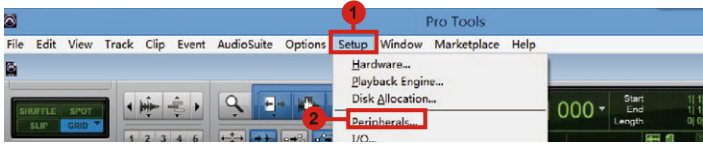
Nuendo (iCON·DRIVER)

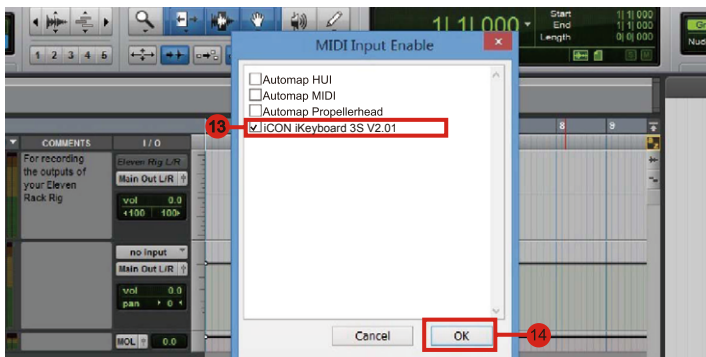


Nuendo (Mackie Control)

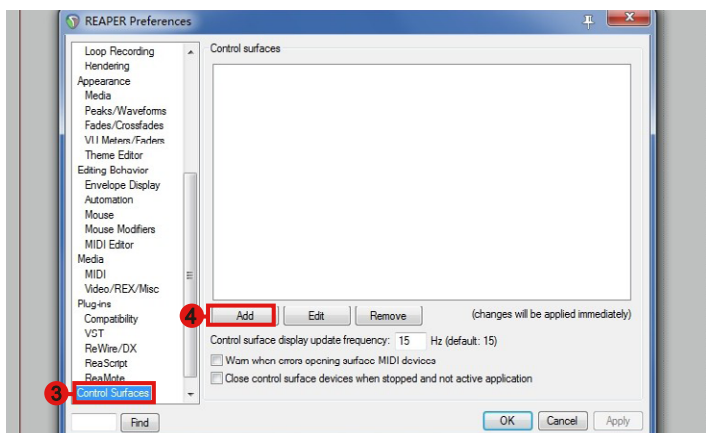
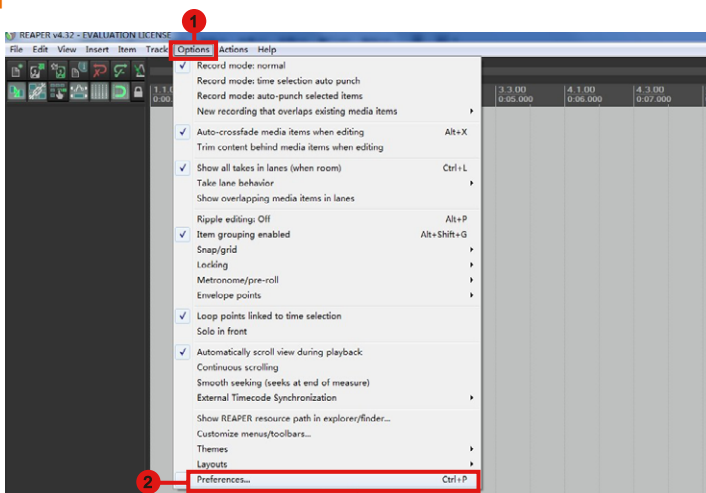


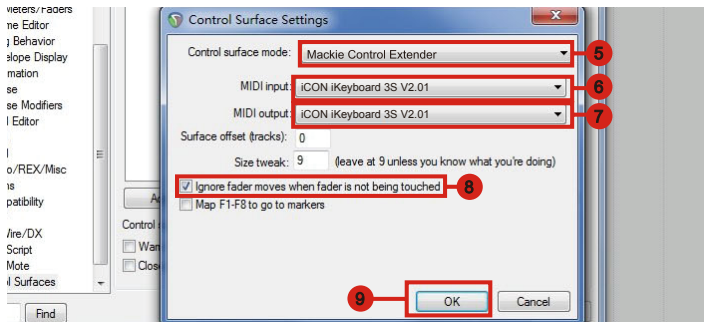
Pro Tools



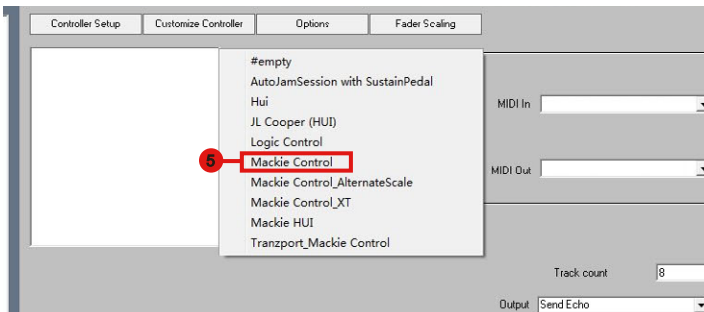
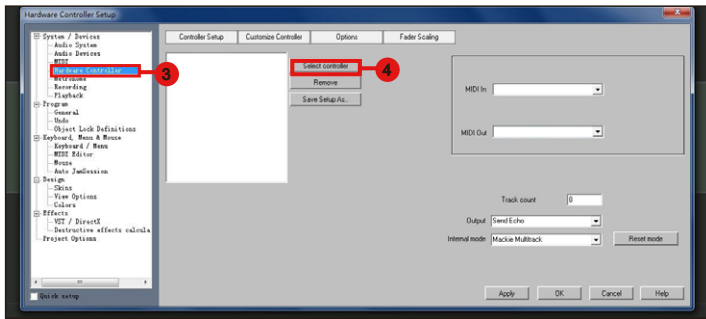
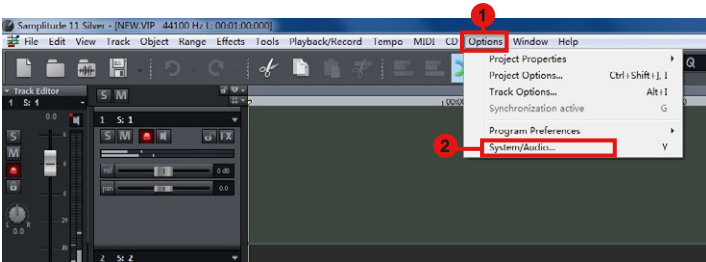


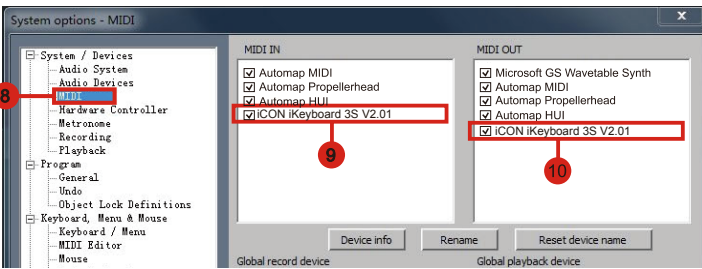
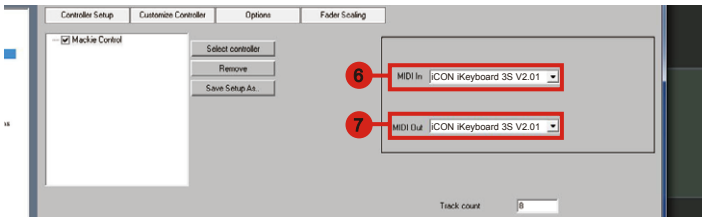
Reaper



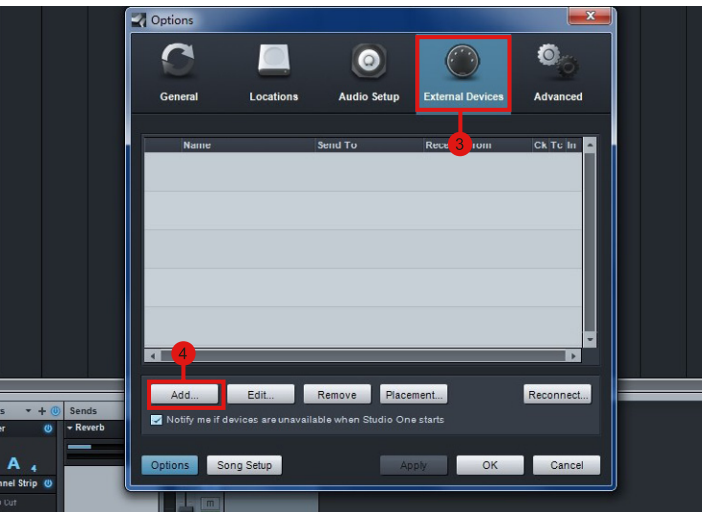
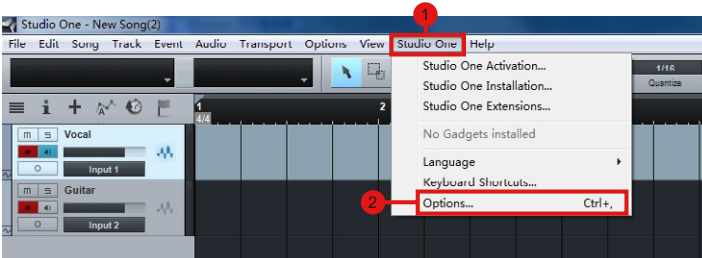


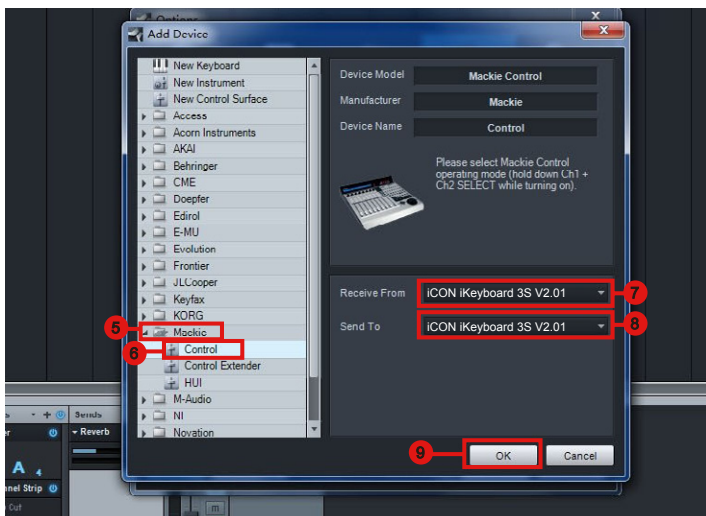
Samplitude



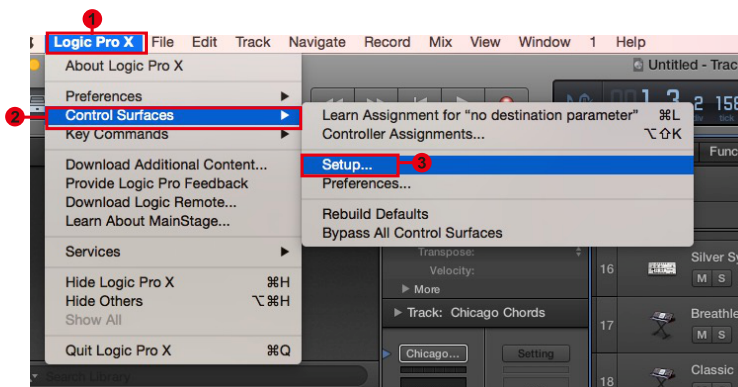


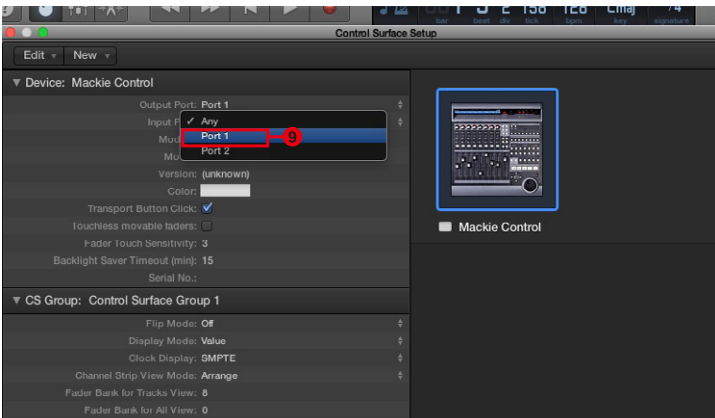
Studio One



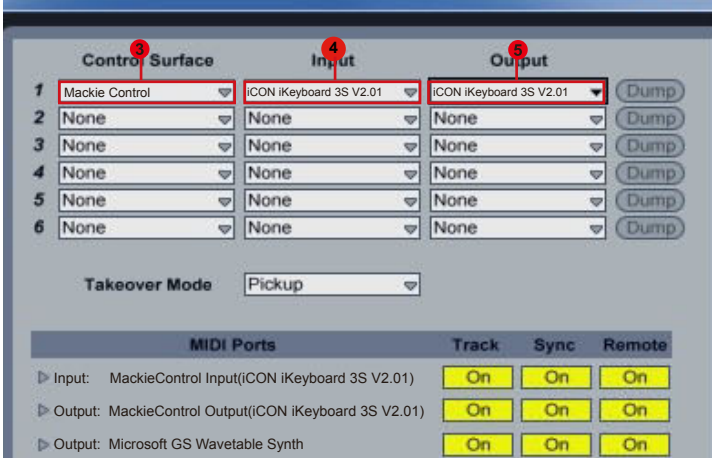
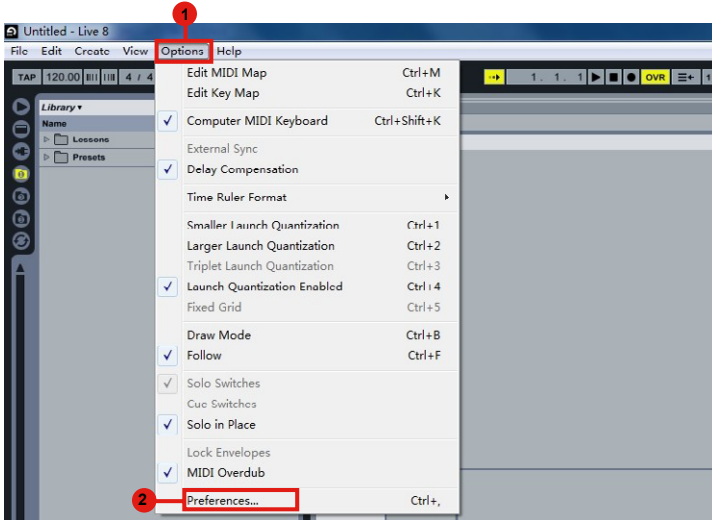


Logic Pro





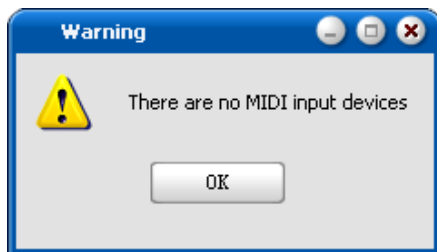
Ableton Live



上で MIDI 機能を指定する iMap™

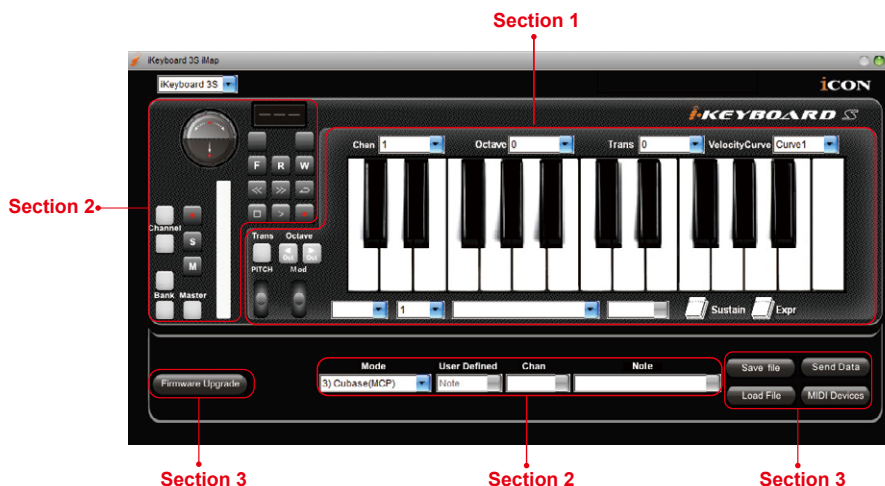
iMap™ を利用すると、MIDI 機能を容易に iKeyboard S にアサインすることができます。

注意: ご利用の iKeyboard S がコンピューター (Mac/PC) に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、iKeyboard S を USB ポートでコンピューター (Mac/PC) に接続してください。



iMap™ iKeyboard S ソフトウェア・パネル

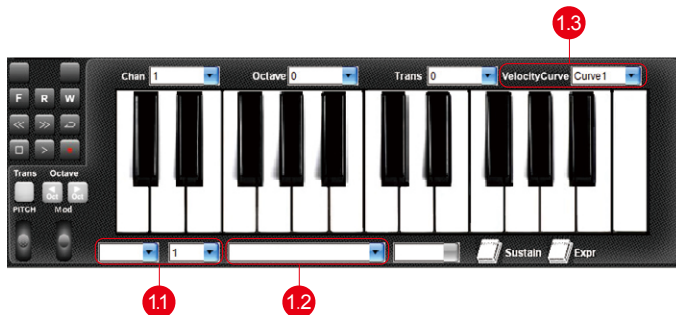
iKeyboard S の iMap は、以下のように、3つのメインセクションに分かれています。



セクション 1

1.0 キーボード・エレメントの割り当て

こうしたエレメントには、キー・スイッチ、ベロシティ曲線、モジュレーション/ピッチ・ベンド・タッチ・パッド、サステイン&エクスプレッション・ペダル、移調&オクターブ・ボタンなどがあります。これらのエレメントは、上の3つのドロップダウン・ウィンドウで割り当てられます。コントロールを割り当てるには、クリックして選択し、2つのドロップダウン・メニュー (MIDI チャンネルと CC) で各 MIDI メッセージを割り当てます。



1.1 MIDI チャンネル

0 から 16 までの MIDI チャンネルを割り当てます。

1.2 CC 値

0 から 127 までの MIDI CC 値を割り当てます。

1.3 ベロシティ・カーブ

お使いのキーボードで利用可能なベロシティ・カーブを選択します。各ベロシティ・カーブ図については、42 ページをご覧ください。

セクション 2

2.0 コントロール面のエレメントの割り当て

これらのエレメントには、全部のボタンとつまみとタッチ・パッドが含まれます。これらのエレメントは、下の4つのドロップダウン・メニューと「Toggle/Momentary」ボタンで割り当てられます。

注意: iKeyboard S には、Cubase™, Samplitude™, Ableton Live™, Logic Pro™ and ProTool™ など、各種 DAW の Mackie コントロールプロトコル & HUI が統合されています。適切な DAW および Mackie コントロールプロトコル (HUI) を選択すると、iKeyboard S に主な機能が自動的にマッピングされ、DAW とシームレスに動作させることができます。



2.1 コントロール・モード

Mackie Control:	Mackie コントロールプロトコルの場合、「Mackie Control」を選択します。
HUI:	HUI コントロールプロトコルの場合、「HUI」を選択します。
User Defined:	全部のコントローラーに、ご自分の MIDI セッティングが設定できます。

(**ヒント:** Mackie Control のと HUI プロトコル機能については、付録 A を参照してください。)

(**注意:** 「Mackie Control」モードと「HUI」モードでは、設定が固定されています。)

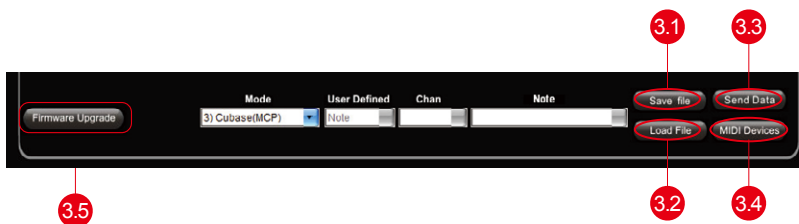
2.2 ユーザー定義モード (高度なユーザー用)

ご自分の MIDI マッピングを割り当てたい場合には、コントロール・モードのドロップダウン・メニューで「User Defined」モードを選択してください。コントロールを割り当てるには、クリックして選択し、3つのドロップダウン・メニューで各 MIDI メッセージを割り当てます。下表には、種々の MIDI メッセージとそのパラメータが示してあります。パラメータは変更可能です。

MIDI Message Type	Channel	Parameters
Note	0 to 16	-1(C) to 9(G)
CC	0 to 16	0 to 127
Program	0 to 16	0 to 127

セクション 3

3.0 キーボードの一般設定



3.1 「ファイルの保存」 ボタン

このボタンをクリックして、現在の iKeyboard S の設定を保存します。保存ファイルの拡張子は「.ikeyboard S」です

3.2 「ファイルを開く」 ボタン

このボタンをクリックして、保存された iKeyboard S の「iKeyboard S」設定ファイルを開きます。

3.3 「ファイルを開く」 ボタン

このボタンをクリックして iMap™ ソフトウェアの設定を USB 接続経由で iKeyboard S に送信します。

(**注意:** iKeyboard S がご利用のコンピューターに接続されていなければなりません。接続されていない場合は送信出来ません。)

3.4 「MIDI デバイス」 ボタン

このボタンをクリックすると、図 23 のデバイス・セレクター画面が表示されます。MIDI Out デバイスで「ICON iKeyboard S」を選択してください。



図 23

3.5 「ファームウェア・アップグレード」 ボタン

このボタンをクリックすると、iKeyboard S のファームウェア・アップグレード・ウィンドウに進みます。ファームウェア・アップグレードの手順については、41 ページをご覧ください。

ファームウェアのアップグレード

iKeyboard S functional firmware upload procedure



4

5

6

7

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

1

2

3

4

5

6

7

8

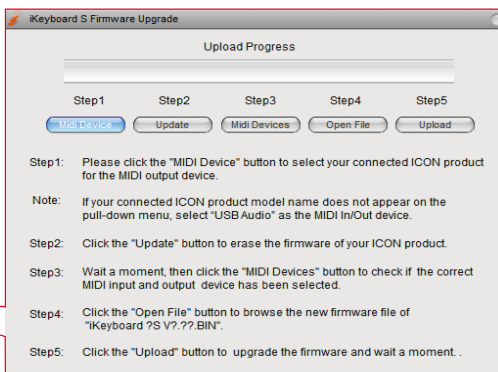
9

10

11

12

13



ステップ1: USB を介して ICON 製品を接続します。一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続した ICON 製品を選択します

注意: 接続した ICON 製品のモデル名がプルダウン・メニューに表示されない場合、MIDI In and Out デバイスとして、「USB Audio」を選択してください。

ステップ2: 「Update」ボタンをクリックします。

ステップ3: 一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続した ICON 製品を選択します。

ステップ4: 「Open File」ボタンをクリックし、新しいファームウェア・ファイルを検索します。

ステップ5: 「Upload」ボタンをクリックし、ファームウェアをアップロードします。

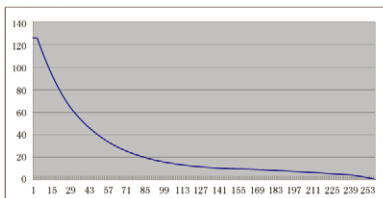
警告: ファイルのアップロード中は、ファームウェアのアップロード・プロセスを中断せずに完了してください。さもないとファームウェアが再書き込みできなくなります。

デフォルト工場設定に戻す

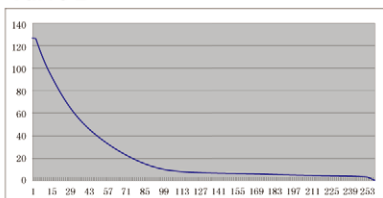
iKeyboard S の設定をデフォルト工場設定に戻すには、iKeyboard S に、iMap ソフトウェアのオリジナル設定である「Factory Default」設定をインポートしてください。

ベロシティ・カーブ

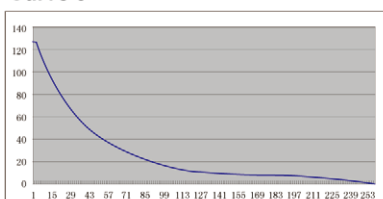
Curve 1



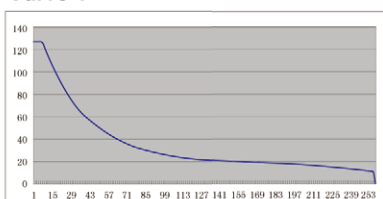
Curve 2



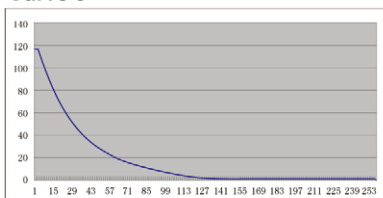
Curve 3



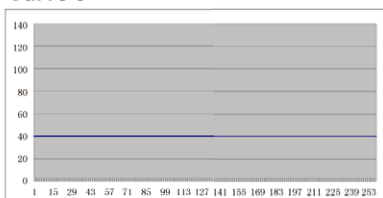
Curve 4



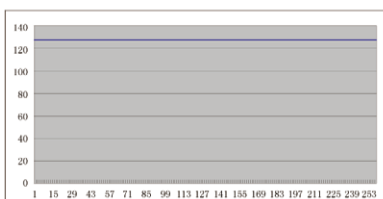
Curve 5



Curve 6










Curve 7










Appendix A

Mackie Control mode function table
(Nuendo/Cubase/Logic/Bitwig/Reaper/Samplitude/Reaper/Studio One/Live)

Controller	Function
Encoder	Adjust channel Pan parameter
Encoder with "Jog" button activated	Rotate: Scrolling the play-line forward & backward Enter: Add marker
TouchPad Fader	Adjust channel/Master volume
Button "Master"	Activate to use the touchpad fader as Master fader
Button "M"	Mute track
Button "S"	Solo track
Button "  " 1-8	Record track
Button "Channel <"	Shift one channel up
Button "Channel >"	Shift one channel down
Button "8 <<"	Shift eight channel up
Button "8 >>"	Shift eight channel down
Button "  "	Activate the stop function
Button "  "	Activate the play function
Button "  "	Activate the record function
Button "<<"	Activate the rewind function
Button ">>"	Activate the fast forward function
Button "  "	Activate the loop function
Button "Flip"	Swap the parameter settings of the faders and the rotary encoder knobs
Button "  "	Activate the read function of the DAW
Button "  "	Activate the write function of the DAW
Button "Program"	Activate to select different sound patches on your DAW

**HUI mode function table
(ProTools)**

Controller	Function
Encoder	Adjust channel Pan parameter
Encoder with "Jog" button activated	Rotate: Scrolling the play-line forward & backward Enter: Add marker
TouchPad Fader	Adjust channel/Master volume
Button "Master"	Activate to use the touchpad fader as Master fader
Button "M"	Mute track
Button "S"	Solo track
Button "  " 1-8	Record track
Button "Channel <"	Shift one channel up
Button "Channel >"	Shift one channel down
Button "8 <<"	Shift eight channel up
Button "8 >>"	Shift eight channel down
Button "  "	Activate the stop function
Button "  "	Activate the play function
Button "  "	Activate the record function
Button "<<"	Activate the rewind function
Button ">>"	Activate the fast forward function
Button "  "	Activate the loop function
Button "Flip"	Swap the parameter settings of the faders and the rotary encoder knobs
Button "  "	Activate the read function of the DAW
Button "  "	Activate the write function of the DAW
Button "Program"	Activate to select different sound patches on your DAW

最低システム要件

Important: iKeyboard S シリーズデジタルオーディオインターフェースは、Mac OS (Intel-Mac)、Windows 7 (32 ビット /64 ビット)、Windows 8 (32 ビット /64 ビット)、Windows 10 (32 ビット /64 ビット) で動作します。iKeyboard S シリーズデジタルオーディオインターフェースは、Windows 98、Windows Me、Windows XP や Windows Vista では動作しません。Mac の場合、iKeyboard So シリーズデジタルオーディオインターフェースは Mac OSX version 10.5.5 またはそれ以降 (Intel-Mac のみ) でしか動作しません。それ以前のバージョンの Mac OS では動作しません。

The following minimal configuration is recommended:

Processor: Core Duo 2GHz or better

Chipset: Intel, VIA*

USB 2.0 host: Integrated high speed

USB 3.0 host: In high speed mode

製品仕様

接続端子：

USB	USB connector (standard type)
Sustain & Expression	2x1/4" TS connectors
MIDI I/O	5-pin Din connector
Line in (L/R)	2x1/4" TS connectors
Line Out (L/R)	2x1/4" TS connectors
Mic in	XLR balanced connector
Headphone out	1/4" stereo connector

電源供給	7V/1A DC
消費電力	500mA or less

重量：

iKeyboard 3S	2.45kg	5.4(lb)
iKeyboard 4S	3.25kg	7.17(lb)
iKeyboard 5S	4.05kg	8.93(lb)
iKeyboard 6S	4.85kg	10.7(lb)
iKeyboard 8S	6.66kg	14.7(lb)

寸法：

iKeyboard 3S	530(L)x189(W)x77(H)mm
	21"(L)x7.44"(W)x3"(H)
iKeyboard 4S	695(L)x189(W)x77(H)mm
	27.4"(L)x7.44"(W)x3"(H)
iKeyboard 5S	860(L)x189(W)x77(H)mm
	33.9"(L)x7.44"(W)x3"(H)
iKeyboard 6S	1025(L)x189(W)x77(H)mm
	40.4"(L)x7.44"(W)x3"(H)
iKeyboard 8S	1403(L)x189(W)x77(H)mm
	55.24"(L)x7.44"(W)x3"(H)

Mic Input (at Minimum Gain):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	93dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-93dB, A-weighted
THD+N	<0.0061% (-90dB)
Crosstalk	-87dB @ 1kHz
Input Impedance	Mic in: 1.8K Ohms, typical
Adjustable Gain	+34dB
Total Gain Range	+50dB

Line Inputs 1/2 (Unbanced):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	100dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-100dB, A-weighted
THD+N	<0.0061% (-90dB)
Crosstalk	-100dB @ 1kHz
Nominal Input Level	Unbalanced: +4dBV, typical;
Maximum Input level	Unbalanced: +11dBV, typical;
Input Impedance	10K Ohms, typical

Line Outputs 1/2 (Unbanced):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	102dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-102dB, A-weighted
THD+N	<0.003% (-90 dB)
Crosstalk	-100dB @ 1kHz
Nominal Output Level	Unbalanced: +4dBV, typical;
Maximum Output Level	+11dBV, typical;
Output Impedance:	150 Ohm
Load Impedance	600 Ohm minimum

Headphone Output: (at Maximum Volume; Into 100 Ohm load):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Power into Ohms	90 mW into 100 Ohms
THD+N	<0.06% (-66dB)
Signal-to-Noise Ratio	-90dB, A-weighted
Max Output Level into 100 Ohms	+2.0dBV, typical
Output Impedance	75 Ohm
Load Impedance	32 to 600 Ohms

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

Servicecenter-Siedler
Am alten Bach 18
41470 Neuss
Germany
Tel: +49 2137 7864212
www.servicecenter-siedler.de
www.facebook.com/ServiceCenterSiedler

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



www.iconproaudio.com



www.support.iconproaudio.com



www.twitter.com/iconproaudio



www.instagram.com/iconproaudio



www.facebook.com/iconproaudio



www.youtube.com/iconproaudio